

平成23年6月28日

報道機関各位

財団法人東北活性化研究センター
「東北地域における組込みシステム産業の
振興方策に関する調査」の結果概要について

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「東北地域における組込みシステム産業の振興方策に関する調査」の結果を取り纏めましたのでお知らせいたします。

本調査は、平成22年度の自主調査研究事業として、学識経験者や自治体、企業等のメンバーで構成する調査委員会を設置し、社団法人組込みシステム技術協会専務理事の門田浩氏を委員長として進めてきたものです。

本調査では、自動車、家電製品等の機器に組み込まれ、それらの高機能化・小型化などの役割を担っている組込みシステムについて、産業の実態と課題を多面的に考察し、その成長戦略とそれを実現するための支援策について提言を行いました。

今回取り纏めた報告書が、東北の経済活性化について、企業、自治体、各種団体の方々など関係機関のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本調査の概要については、別添のとおりです。

以上

<添付資料>

- ・ 調査報告書の概要

<お問い合わせ先>

（財）東北活性化研究センター（担当：調査研究部 紀、佐藤(健)）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL 022-222-3394 FAX 022-222-3395

「東北地域における組込みシステム産業の振興方策に関する調査」 報告書の概要

第1章 組込みシステムとは

東北地域の産業活性化を図る上で、集積している電子部品・デバイス産業や自動車関連産業の強化が重要であるが、その強化を図る手段として注目されるのが「組込みシステム」である。「組込みシステム」とは自動車、携帯電話、家電製品、産業機械等の機器に組み込まれているコンピュータシステムを意味するが、高機能化・簡素化・小型化の実現が求められている中でその重要性がますます高まるものと予測されているからである。

第2章 東北地域の組込みシステム産業の現状及び課題

アンケート及びヒアリング調査結果を踏まえ、事業分野の現状、取引構造の現状、外部環境の現状、の三つの視点から考察した結果、系列下傾向が強く新規参入が難しい業界であること、価格競争が激化すると共に開発コスト削減の要請が強まっていること、顧客企業が少ない等の厳しい経営環境が明らかになった。さらに、こうした厳しい経営環境に直面している東北の企業の多くが、その打開策として、新技術や新製品の開発による競争優位の獲得、独自技術の獲得によるメーカーとの直接取引の拡大、成長分野への進出等を重視していることが把握できた。また、こうした打開策を講じる上で企業が抱えている課題として、第一に、ポジショニングの明確化、第二に、顧客ニーズ・市場動向の把握、第三に、人材スキルの把握と向上、第四に、顧客開拓・販路拡大、第五に、開発効率の向上・品質確保、第六に、競争資金の確保と、六点を指摘した。

第3章 他地域の組込みシステム産業の振興方策

第2章で考察した東北地域の組込みシステム産業の現状と課題に対し、いかなる支援策が有効であるかという観点から、組込みシステム産業振興に積極的に取り組んでいる九州、関西の下記の三つの支援組織の取組み内容を整理した。

- ①情報家電ビジネスパートナーズ(大阪市)、②九州地域組込みシステム協議会(福岡市)、③組込みシステム産業振興機構(大阪市)

第4章 東北地域における組込みシステム産業の振興方策の検討

東北地域の組込みシステム産業の個別の企業の性質に応じて、それぞれ各課題の濃淡は異なり、解決策も一様に論じられないことから、企業の類型化を行うと共に、ヒアリング調査の知見を踏まえ、企業の成長モデルを導出した。組込みシステム企業を、「依存型」、「パートナー型」、「自律型」という三つの企業タイプに分類し、「依存型→パートナー型→自律型」という「横展開型(ビジネスモデルの転換)」の成長戦略のほか、各成長ステージ内に留まりながら専門性を徹底的に磨き上げる「深堀型」の戦略を示した。

次に、これらの成長戦略を実現するための支援策として、例えば、「依存型」にはETSSスキル診断の実施に向けた支援、開発標準化ツール活用や生産性の向上への支援、マッチング事業の拡充などを、「パートナー型」には大学・研究機関の技術シーズ情報等の一元提供、組込みシステム企業間のアライアンス形成及び事業化への支援、販売戦略コンサルタ

ント等による研修会の実施などを、提言した。

終章 まとめ

第2章、第4章を踏まえ、東北地域における組込みシステム産業の現状と課題について再度述べると共に、その課題解決に向けた、組込みシステム企業の成長モデルと成長プロセスへの道を、改めて強調した。次に、東北地域では組込みシステムと関連性の強い産業の競争力強化に向けた取組みが活発化している現況を示し、今後の東北地域の組込みシステム企業が果たしうる役割は極めて大きい点について付言した。

東北地域の組込みシステム企業経営者へのメッセージ

今回の調査で明らかになった事実のうち、今後の組込みシステム産業の発展にとって特に重要と考えられた、①企業経営に関する理念・方針の樹立、②人材育成への真摯な取組み、の二点について、企業経営者の方々へ、「東北地域における組込みシステム産業の振興方策に関する調査」委員会一同からのメッセージとして掲載した。

●参 考

「東北地域における組込みシステム産業の振興方策に関する調査」

委員会 委員名簿

(敬称略、順不同)

	氏 名	所 属・役 職
委員長	門田 浩	社団法人組込みシステム技術協会 専務理事
委 員	青木 孝文	東北大学大学院情報科学研究科 教授 情報知能システム研究センター 副センター長
委 員	柴田 孝	山形大学 国際事業化研究センター 教授
委 員	與那嶺尚弘	仙台高等専門学校 知能エレクトロニクス工学科 准教授
委 員	水野 節郎	株式会社イーアールアイ 代表取締役
委 員	小野 嘉信	株式会社ビッツ 取締役
委 員	赤沢 隆	株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ 技師長 兼 電子機器本部長
委 員	菊池 康弘	アイシン・コムクルーズ株式会社 盛岡開発センター 開発室 室長
委 員	大山 明美	宮城県 企画部 情報産業振興室 室長
委 員	柏 芳郎	東北経済産業局 地域経済部 情報産業支援室長
オブザーバー	高橋 邦夫 (代理出席)	東北経済産業局 総務企画部 企画室 室長補佐
オブザーバー	高橋 哲夫	東北経済産業局 地域経済部 産業クラスター計画推進室 室長補佐
オブザーバー	本田 光正	社団法人組込みシステム技術協会 東北支部 副支部長

以上